

評価対象年度	令和4年度
--------	-------

政策評価シート

政策番号	6
------	---

政策推進の基本方向	政策名称 健康で、安全安心に暮らせる地域をつくる	政策担当 部局	保健福祉部
誰もが安心していきいきと暮らせる地域社会づくり		評価担当 課室	保健福祉総務課

政策目標
暮らしに必要な保健福祉や防犯などの基礎的な機能やサービスについて、地域の実情や社会の変化に対応し、関係機関や地域等が連携し、持続的なサービスの提供体制を構築するなど、「元気に」そして「安全・安心に」暮らすことができる地域社会をつくります。

政策に対する県民意識調査の結果

県民意識	重視度	令和3年度	91.1% 1位/8政策	令和4年度	92.5% 1位/8政策	令和5年度		令和6年度				
	満足度	令和3年度	45.2% 1位/8政策	令和4年度	41.4% 1位/8政策	令和5年度		令和6年度				
	本政策において優先すべきと思うテーマ				R3		R4		R5		R6	
					割合	順位	割合	順位	割合	順位	割合	順位
	①心身の健康づくりの支援体制強化				38.3%	8位	34.9%	5位				
	②切れ目のない医療提供体制の整備				61.0%	1位	58.3%	1位				
	③感染症対策の推進				40.8%	7位	30.4%	6位				
	④高齢者を支える体制整備の促進				50.1%	3位	45.8%	3位				
	⑤障害者の権利擁護や社会的障壁の除去				35.0%	9位	20.3%	9位				
	⑥誰もが暮らしやすいユニバーサルデザインのまちづくりの推進				42.6%	6位	17.9%	10位				
⑦障害者や難病患者等を支える体制整備の促進				49.6%	4位	27.1%	8位					
⑧地域交通の維持や柔軟な移動手段の普及支援				59.7%	2位	48.5%	2位					
⑨商店街の活性化等によるまちづくりの支援				32.7%	10位	28.1%	7位					
⑩地域の安全安心の確保				49.0%	5位	37.6%	4位					

政策を構成する施策の成果及び評価(原案)

番号	施策の名称と成果の検証	施策評価の原案
12	生涯を通じた健康づくりと持続可能な医療・介護サービスの提供	やや遅れている
	新型コロナウイルス感染症への対応では、関係機関との連携により医療体制の維持に努めるなど、人命を最優先として感染拡大への対応に取り組んだ。施策目標の達成に向けた各種事業を着実に実施し、長期的には成果が期待されるものの、目標指標の達成率について全体的に遅れが見られることから、本施策を「やや遅れている」と評価した。	
13	障害の有無に関わらず安心して暮らせる社会の実現	概ね順調
	目標指標の達成度や傾向等から②を「順調」と、①③を「概ね順調」と評価した。課題についても、人材の確保・育成やグループホーム等の整備支援、精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築等の継続した取組に加え、障害者アート作品を通じた相互理解の促進やIT市場での精神障害者の就労促進等の新たな取組により、共生社会の実現が期待されることから、本施策を「概ね順調」と評価した。	
14	暮らし続けられる安全安心な地域の形成	概ね順調
	コロナ禍等においても地域内における住民の移動手段の確保が図られ、想定よりも移動回数の減少が抑えられたこと、商店街ビジョンの策定や商店街活動の担い手の育成も徐々に進んでいるほか、刑法犯認知件数及び交通事故死者数が目標値内に抑えられるなど、地域の安全安心の確保が進められていることから、総合的に本施策を「概ね順調」と評価した。	

政策課題と対応方針	
政策課題	課題解決に向けた対応方針
6-1 医療・介護人材の育成・確保	6-1 ・医学生修学資金貸付事業や政策的医師配置、令和6年度以降の東北医科薬科大学卒業医師の計画的配置、看護師等養成所への助成などの医療人材確保対策・育成支援の継続 ・外国人人材の確保や介護助手の導入支援、介護ロボット・ICT導入による働き方改革の推進・業務改善の支援 ・介護職イメージアップのためのイベント・メディア等による情報発信、普及啓発
6-2 困難を抱える県民をともに支える社会づくり	6-2 ・オンラインによる引きこもり者への居場所支援、自死対策の推進 ・障害者アート作品をテーマとしたイベント開催等による障害や障害者の相互理解の促進 ・特殊詐欺被害防止のための特殊詐欺電話撃退装置の普及促進及び捜査用資機材の整備
6-3 サイバーセキュリティ対策の充実	6-3 ・深刻化するサイバー犯罪に的確に対処するための捜査資機材整備

政策目標に対する成果の検証	<p>本政策では、生涯を通じた健康づくりについて、関係機関との連携の下、新型コロナウイルス感染症対策に重点的に取り組み、医療提供体制の維持に努めた。当初の計画どおり進められなかった事業も見られるものの、医師や看護師等の医療人材の確保や介護人材の確保・定着への支援など、持続的な医療・介護サービスの提供体制の構築に向けた各種取組が着実に進められている。</p> <p>障害の有無にかかわらず安心して暮らせる社会の実現については、情報保障やバリアフリー化の取組が順調に進んでいることに加え、助け合いアプリやリーフレット等による効果的な普及啓発を行い、障害や障害者に対する相互理解を図っている。また、障害福祉事業所における職場環境改善や業務効率化への支援など人材不足解消の取組のほか、医療的ケア児等相談支援センターの開設による当事者・支援者に対する相談支援体制の強化など、障害者等がより安心して生活できる環境づくりが概ね順調に進んでいる。</p> <p>暮らし続けられる安全安心な地域の形成については、地域生活の支えとなる公共交通の利用促進の取組や商店街活性化によるまちづくりが概ね順調に進んでいるほか、刑法犯認知件数及び交通事故死者数は、前年度に引き続き目標値内に抑えられ、安全・安心な地域社会の実現に寄与している。</p> <p>以上のとおり、一部の目標指標の達成にやや遅れが見られるものの、暮らしに必要な保健福祉や防犯に関連する取組が展開され、健康で安全安心に暮らせる地域づくりが着実に進められており、また、本政策に対する県民意識の重視度・満足度も高いことから、政策全体では「概ね順調」と評価した。</p>
	<p>成果の検証を踏まえた評価原案</p>

概ね順調